

平成30年度特別史跡大宰府跡蔵司地区現地説明会のご案内

特別史跡大宰府跡蔵司地区は、古代大宰府の財源を管理した役所（蔵司）が想定されており、官衙施設としては九州最大級の大型礎石建物が知られています。

九州歴史資料館では、平成21年度から蔵司地区の確認調査を開始し、平成26年度からは主要施設の規模と構造、時期変遷等を明らかにするための重点調査を行っています。今年度は、昨年度に引き続き蔵司地区の中心的な建物と目される、大型礎石建物SB5000の東側の平坦地において、建物等の構造や配置などを確認するための調査を実施しています。

調査の結果、昨年発見された礎石建ちの倉庫建物と同じ規模・構造の倉庫建物になる可能性がある礎石建物跡と、その南側には大型礎石建物跡2棟、さらにこの大型礎石建物に先行する可能性がある掘立柱建物の柱穴も新たに見つかりました。

今回の発見は、蔵司地区官衙の変遷や機能、あるいは大宰府全体の構造を考える上で、非常に貴重な成果と言えます。

この調査成果を広く公開する現地説明会について、下記のとおり開催することといたしましたので、ぜひご参加ください。

- 1 日 時 平成30年11月11日（日）11：00～14：30
担当者による説明は11：00と13：30の2回実施（少雨決行）
※雨天時の確認は、当日朝8：30以降に0942-75-9575（九歴代表）へお願いします。
- 2 現 地 大宰府政庁跡西側の蔵司地区発掘調査現場（別添地図参照）
太宰府市観世音寺3丁目
（西鉄都府楼前駅から徒歩10分）
- 3 問合せ先 九州歴史資料館 文化財調査室 調査研究班
電話 0942-75-9575
- 4 その他 現地には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。



発掘調査地周辺図 (Google マップより作成)